

平成 30 年 9 月 30 日(日)に総合南東北病院 NABE ホールにて『認知症市民フォーラム～9 月 1 日は言語聴覚の日～』が開催されました。

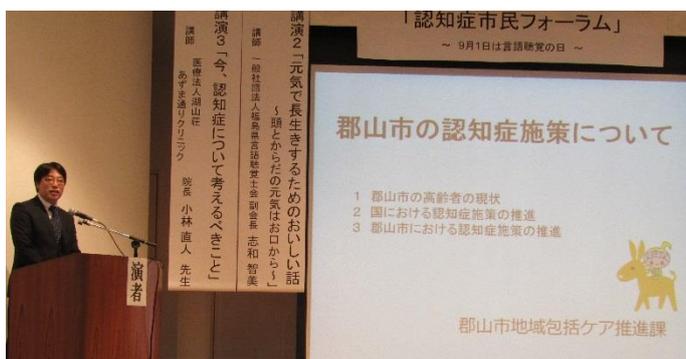


本年度の認知症フォーラムでは、郡山市地域包括ケア推進課課長伊藤克也様から『郡山市の認知症施策について』、福島県県士会の志和智美副会長から『元気で長生きするためのおいしい話～頭とからだの元気はお口から～』、医療法人湖山荘あづま通りクリニック院長の小林直人先生から『今、認知症について考えるべきこと』について講演して頂きました。

また講演に先立ち遠藤広文様からご挨拶を、品川萬里郡山市市長からご祝電を頂きました。



『郡山市の認知症施策について』では、認知症初期集中支援チームや QR コード活用事業、認知症高齢者 SOS 見守りネットワークなど先駆的な取り組みについて、平成 30 年 10 月 1 日から地域包括支援センターをよりなじみやすく、高齢者支援の窓口であることがわかりやすいよう“高齢者あんしんセンター”と愛称が変更するなどご紹介頂きました。



『元気で長生きするためのおいしい話』では、健康長寿の3本柱である栄養と口腔、運動、社会参加の中でも重要なお口の健康について、自宅で行える体操の紹介など実技も交えてわかりやすく講演して頂きました。



『今、認知症について考えるべきこと』では認知症社会の実情、早期発見と対応、治療から予防など多岐にわたり講演して頂きました。その中で、認知症に対してサポートする力を地域全体に広げていくことの重要性を改めて述べられておりました。住みなれた地域で安心して暮らせるための地域づくりのためにも、様々な立場の方がともに学び多様な意見交換が行える認知症フォーラムを、今後も多くの方が参加されるよう発展させていきたいと思っております。



質疑応答からもありましたが、行政、当事者、医療従事者などそれぞれがしっかりと情報を発信していくこと、連携すること、その積み重ねがよりよい認知症施策の形成へとつながると思われまます。是非、本フォーラムの内容が各地域での取り組みへと活かして頂ければと思います。

広報部 櫻井 亘